

若い世代から図書館をより利用してもらうための取り組みの報告

1 事業の目的

現在、長岡市では、高校生の図書館の貸出カード登録率が約20%にとどまっている。平成27年10月に策定された長岡版総合戦略「長岡リジュベネーション～長岡若返り戦略～」では、「若者自身が参加、企画、実現し、魅力を生み出すまちづくり」を目標の一つとしており、中央図書館においても若い世代から積極的に図書館を利用してもらうことで、若者の志の引き出しを応援したいもの。

2 主な取り組み・成果

○若者しごと応援コーナーの設置

若い世代が仕事について考えるきっかけとなるよう資料を、一カ所にまとめたコーナーを新設した。約460冊所蔵。実際の職業紹介の本のほかに、自己啓発本や面接対策、仕事をテーマにした小説など幅広く収集した。広報紙やHPでPRし、10回以上貸出された資料があるなど、順調に利用されている。

【よく貸出に出ている資料（例）】

『漫画家たちが描いた仕事』シリーズ 金の星社

『仕事のカatalog 2017-18年版』自由国民社

『理学療法士的一天』保育社 など



○図書館からの挑戦状

若い世代が図書館に足を運ぶきっかけとなるようなイベントの実施。イベントでは図書館の利用の仕方を学んだり、YAコーナーや若者仕事応援コーナーをPRしたりするような問題を出題した。期間中は57名が参加し、当初の目標であった50名を達成した。



○フェイスブックの開始

若い世代への積極的な広報手段としてフェイスブックを開始。図書館で開催するイベント情報や、図書コーナーの紹介を掲載している。10月の開始から約200件の記事を掲載。週間の投稿リーチ数は平均60と少ないものの毎月20%ほどリーチ数が増加している。

3 今後の課題

(1) 関係機関との連携

2月19日（日）には「ながおか・若者・しごと機構」主催の「長岡しごと体験ランド」に参加したが、今後も同機関との情報交換、連携をより一層進める。

(2) 新しいイベントの工夫

若い世代が足を運ぶきっかけとなるようなイベントを継続して行う。